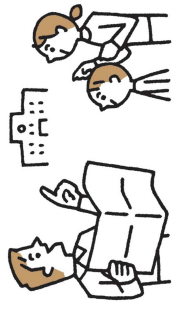


## 今日から、すぐにできること（日頃からの備え）

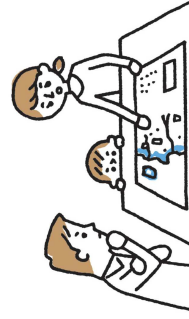
### ■ 住んでいる地域の危険性や緊急避難場所を確認

- いざというときでも落ち着いて行動できるよう、避難経路などをあらかじめ想定。
- 実際に歩いてみて、いくつかの避難経路やそれぞれの避難にかかる時間を確認しておきましょう。



### ■ 家族のルールを決めておこう

- 大切なものを守るの、冷静な判断力と行動力。
- 家族みんなで防災をテーマに話し合い、何かが起こった場合の避難場所や連絡方法などを決めておきましょう。



### ■ 備蓄や非常持ち出し品を準備

- 家庭内備蓄（水や食料など）は、各家庭で3日分、できれば7日分のご用意を。
- 非常持ち出し品は、1人ずつ、リュックサックなどに入れて、すぐ取り出せるところに置いておきましょう。男性は15kg、女性は10kgまでが目安です。



### ■ 家庭内防災に取り組もう

耐震診断・耐震補強  
家具の転倒防止



### ■ 緊急避難時は！

- 飲料水
- 常備薬
- 携帯電話
- 食料
- 現金

### ■ 日頃から備えましょう！避難時の持ち出し品（上記に加えて）

- 携帯ラジオ
- 懐中電灯（ヘッドライトがおすすめ）
- 電池
- ビニール袋
- 歯ブラシ
- 軍手
- タオル
- ティッシュ
- 雨具
- 防寒具
- 衣類
- 毛布・寝袋
- 携帯の充電器
- 貴重品（印鑑・通帳・健康保険証・免許証など）
- その他必要なもの

\* 土砂災害の恐れのある地域では、おとなり同士で声をかけ合いましょう！

\* 最小限の必要な携帯品は持って避難しましょう！

このパンフレットは、いつも目につくところに置いてください。  
付属の地図は、壁などに貼りつけてご利用ください。

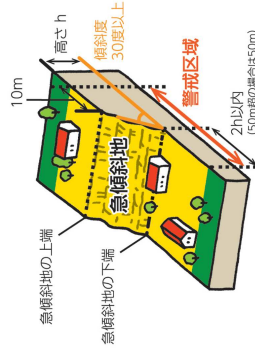
2016年12月 編集・発行：平野地区防災福祉コミュニティの会

# 平野地区防災福祉コミュニティの会 土砂災害避難マップ

このパンフレットは、平野地区防災福祉コミュニティの会が、土砂災害の発生が予想される場合に、地区のみなさんの避難推奨ルートや日頃の心構えなどをまとめたものです。

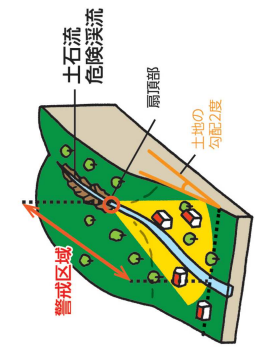
## 土砂災害の種類とその前兆現象

### がけくずれ



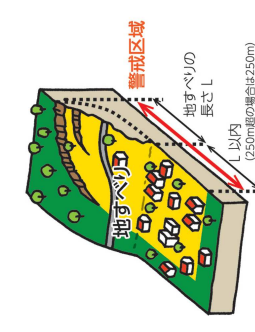
大雨などの影響で、斜面が急激にくずれ落ちる災害：斜面の上では崩落の危険性、下の方では崩落した土砂が押し寄せてくる危険性があります。

### 土石流



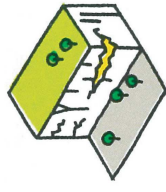
大雨などの影響で、山が崩壊して、谷間から水とともに土砂や巨石が流れ出て、人家などを押し流す災害：がけくずれと違い、広範囲に最大な被害をもたらします。

### 地すべり

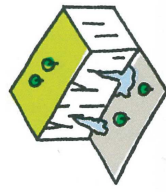


地下水位の上昇などの影響で、斜面が深く、広い範囲にわたって、ゆっくりすべり落ちる災害：がけくずれと違い、広範囲に最大な被害をもたらします。

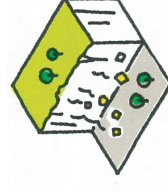
## 前兆現象にはこのようなことがあります



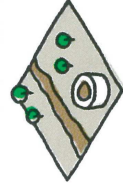
がけに割れ目が見える



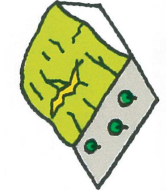
がけから水がふきだす



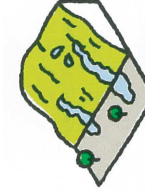
がけから小石がバラバラ落ちる



山鳴りが聞こえる



斜面や地面にひび割れができる



斜面から水がふきだす

## 避難情報の種類と求められる行動

### 避難準備情報

大雨や暴風が続くと見込まれ、土砂災害や洪水が発生する可能性が高まっている状況

### 【求められる行動】

いつでも避難できるように準備  
避難に時間がかかる方は避難を開始

### 避難勧告

土砂災害や洪水などが発生する恐れがあり、命が危険にさらされる可能性が高まっていて、避難が必要

### 【求められる行動】

すみやかに安全な場所への避難を開始

### 避難指示

災害の前兆現象が発生し、切迫した状況から命が危険にさらされる可能性が非常に高まっている状況  
ただちに避難が必要

### 【求められる行動】

ただちに安全な場所へ避難  
状況によっては、命を守るために「屋内安全確保」などの行動をとる